

## コズミックスクール

### ～自分で作った天体望遠鏡で十三夜の栗名月を観察！～



10月25日（日）に、博物館5階コズミックラウンジにてコズミックスクールを行いました。9月に引き続き今回も天体望遠鏡の工作教室でした。製作にかかった時間は、約2時間。自分で作った天体望遠鏡で十三夜の「栗名月」を見ようと、親子で協力して工作に取り組んでいました。

完成してからピントの調節練習をコズミックラウンジ内で行った後、天体望遠鏡を片手に市民公園で観望会を行いました。

「すごい！月がきれいに見える！」「感動しすぎて鳥肌が立つ！」「月がどんどん動いていくのがわかる！」と予想以上に美しく見える望遠鏡に感動していました。

中秋の名月は、中国から伝わったものですが、



十三夜は、日本独自のものです。ちょうどこの時期は、栗と豆の収穫の時期であることから「栗名月」「豆名月」といわれます。

この時期は、月を楽しむのにはとても良い時期なのではないでしょうか、昔から「十三夜に曇りなし」といわれ、今年もとても良いお天気になりました。

十三夜は、中秋の名月とは違い、決して満月になることがないことから、そこに日本独自の感性があります。そのことは、文学などにも生かされていますね。たとえば、五千円札の肖像になっている樋口一葉が書いた小説『十三夜』は、満月の華やかな感じではなく、どうにもならない人生の切なさを感じる作品です。月を題材にした文学や音楽はいくつかありますから、秋の夜長を楽しんでみてはいかがでしょうか。また、双眼鏡や天体望遠鏡を使って月を眺めみると、普段とはまた違った見方ができるかもしれません。



## 11月の天文現象は？

### 6日～8日 明け方に、金星・火星・木星・細い月が接近！

朝5時頃の東の空を見ると、マイナス4.3等の金星とマイナス1.8等の木星がとても目立っていることから、「あの星は何ですか？」と問い合わせの電話が時々あります。実は、よく見ると金星と木星の近くに、赤い惑星の火星が見えているのがわかります。でも、金星や木星があまりに美しく輝いているために火星がちょっと控え目に見えてしまいます。

11月4日（水）には、火星は金星に最も接近し、6日（金）から8日（日）にかけては、3惑星に加えて、細い月が見えてきます。東の空がとても美しい眺めになりますので、土

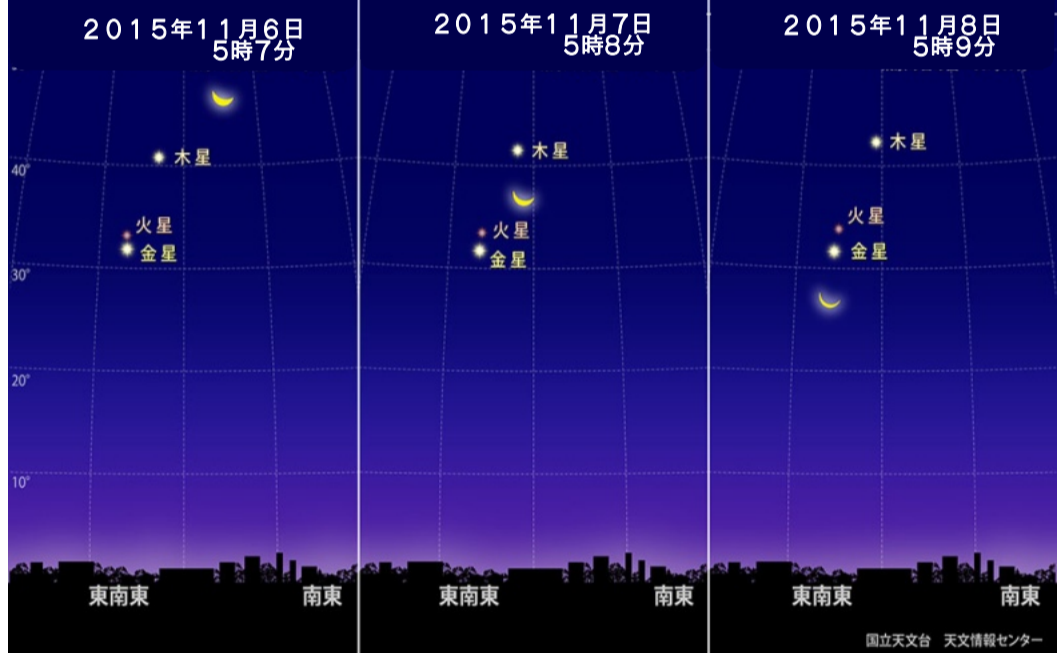
曜日、日曜日に少し早起きをしてデジカメを東の空に向けてみてはいかがでしょうか。

### 18日 しし座流星群が極大！

18日には、しし座流星群が極大になります。今年は、月もなくたいへん良い条件で観察することができますが、1時間に最大10個から15個くらいと少なめです。ただ、しし座流星群は毎年、火球が見られることがありますから、少々期待をしたいところですが、深夜2時頃には惑星も見えてきます。暖かい服装で観察してください。

## 接近のようす

月と金星、木星、火星の接近



## 日程変更のお知らせ

次のイベントの開催日が変更になりました。

- 《字幕付き投映》  
「黒い太陽のひみつ」  
平成28年 平成28年  
2月20日(土) → 2月13日(土)
- 《字幕付き投映》  
「おじゃる丸」  
平成28年 平成28年  
2月21日(日) → 2月14日(日)
- 《宇宙塾》  
「4年ぶりの日食」  
平成28年 平成28年  
3月 5日(土) → 3月 6日(日)

お間違えのないようにお願いします。

## ★★観望会★★

《天文ボランティア主催 観望会》

日時：11月14日（土）  
17時30分から19時まで  
場所：伊坂ダムサイクル  
パーク管理事務所付近  
内容：月や見ごろの星を観察します。  
\*当日の自由参加です。  
\*天候不順の場合は中止。  
\*きらら号は出動しません。



《博物館主催きらら号観望会》

日時：11月28日（土）  
17時30分から19時まで  
場所：市民公園  
内容：見ごろの星を観察します。  
\*当日の自由参加です。  
\*天候不順の場合は中止。



## 編集後記

木々の葉が鮮やかな赤や黄色に変わり、秋の深まりを感じます。夜空を見上げると、もう冬の星座が顔を見せ始めています。それもそのはず、11月8日は立冬です。暦の上ではもう冬になるんですね。空気も澄んで、ますます星がきれいに見える季節になってきました。風邪をひかないように暖かい服装で星空を見に出かけましょう。

